

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	LINO (放課後等デイサービス)		公表日		令和7年1月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容に合わせて、児発、放デイの仕切り(ドア)開け、広くしている。また、多目的室や公園等を活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員の配置数は適正であります。時間帯によっては配慮が行き届かないことがあったことが推測されます。今後は、より密接に関わっていくことができるよう配慮してまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・可能な限り車イスに対応したトイレを設置したり、手すりをつけるなど、利用者に合わせた配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清潔で心地よく過ごせる環境を提供するために、消毒、清掃は徹底して行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて、廊下、テラス、静養室などを空いているスペースを利用し、個別の対応も行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の活動計画の確認から実施、反省、そして個別支援計画の作成から評価まで全職員で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・前回の評価表(ご意見を踏まえた対応)を基に業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや職員会議等で意見等を把握する機会を設け、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ABA研修を職員会議にて実施している。 ・専門委員会を中心に研修を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成し、HPにて公表している。 ※HP:lino@lino2020.jp	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を活用し、個別支援計画書に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者のもと、チーム全体で個別支援計画作成会議を開き、意見を出し合いながら作成に当たっているため、共通理解が図れている。また、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・上記の通り、個別支援計画はチーム全体で行っているため、内容については、職員間で共有しており、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を活用し、個別支援計画書に反映させている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を選択し、その上で、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動内容が偏らないように計画的に実施しており、朝のミーティングを通して、個別支援計画に沿った支援ができるよう意見を出し合い、立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・偏ったプログラムにならないよう、前月、前々月のプログラムを見合わせながら月間プログラムを立てるよう配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別支援計画に基づき、集団での活動だけでなく、必要に応じて個別活動や小集団での活動に切り替えて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼時に必ず支援者全員で支援内容、個別の活動内容の役割分担の確認を行い、丁寧な支援を心掛けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動内容、個別の気づきに対しての振り返りを行い、記録に残し、次回の活動計画に反映させている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援ソフトを活用し、日々の活動の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・評価時期を定め、計画的に実施し、支援の必要性や見直し等を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・ガイドラインの基本活動(「自立支援と日常生活の充実のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」及び「こどもが主体的に参画できる活動」を意識しながら、子に応じた支援が提供できるよう心がけている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・こどもが自己選択できるように活動等を提供し、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。 ・おやつ時間は買い物活動を提供し、自分の好きな物を自己決定できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者及び担当者が、担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療的ケアの必要な子どもに対しては、連絡体制を整えており、医師の指示書を基に支援を行っている。 ※協力医療機関：らららこどもクリニック	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。 ・下校時間についてはダブルチェックを行うようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行に伴い、利用児が新たに繋がった相談支援員と連携をとり、これまでの支援内容等の情報共有を行った。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・センター主催の研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・あえて交流の機会は設けていないが、公園や公共施設等を利用した際に、他児と交流する場を設けている。 ・外出活動の際、地域の子どもたちと共にマナーを守って過ごすことができている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・（自立支援）協議会等が主催している会合へは、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・定期的に保護者へ連絡を行い、子どもの状況や課題について共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・「園長と語ろう会」を実施し、保護者の子育てに関する相談・悩み等に対し、親業における子育てのアドバイスを行った。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、説明、同意、交付を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・定期的にモニタリングやアセスメントをとりながら、家族や本人の意思を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画書の説明、同意、交付を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・園長と語ろう会を開催し、保護者同士で交流する機会を設け、子育てに対する悩みや相談に対して助言やアドバイスを行っている。 ・きょうだい同士で交流する機会は特別設けていないが、保護者からの要望があれば、必要に応じて検討する。	・きょうだい同士で交流する機会を設ける等、イベントを検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者より苦情があった際、迅速に対応を行っている。 ・意見箱に寄せられた内容については、通信にて対応の結果を伝えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、LINO通信やホームページを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真掲載同意書を基に個人情報に十分配慮している。 ・ブログをあげる前に、複数人の目を通してからあげるようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々に応じて、伝達手段を工夫して対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・当テナントビル内及び近隣の企業と地域交流活動(ハロウィン、クリスマス会等)を通して交流を図った。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・火災、風水害、地震、不審者マニュアルに基づいて避難訓練を実施している。また、保護者の方へ報告している。 ・感染症対応については、ホームページに掲載している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間計画を基に、月に1回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーについて、聞き取りを行っている。また、アレルギーのあるお子さんについては医師の指示書を提出していただき、医師の指示書を基に対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画(各マニュアル)を作成し、必要な研修や訓練を実施している。また、計画的に見直しを行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、発生した際はすぐに原因、対策を話し合い対応している。 ・職員会議で全職員に周知し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待を防止するため、年に2回、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・保護者へ身体拘束同意書の説明を行い、署名・捺印を頂いている。	